



株式会社そよ風
理美容事業部 そよ風
葬祭事業部 あいの風



第2回あいちサービス大賞
知事賞受賞

株式会社そよ風
代表取締役

村手克行

「施設を元気にする事業」にこだわりたい
理美容業だからこそ出来る



祖母との思い出

2003年10月、愛知県で初めての移動理美容車(2トントラック)を導入し、訪問理美容を専門とする会社として設立された株式会社そよ風。「喜びをつなぐ」を理念とした確固たる信念と情熱のもと、2018年7月には高齢者施設および、ご自宅葬儀の「あいの風葬」を展開。このたび、先進的なサービスを提供する事業者による成功事例を表彰する「第2回あいちサービス大賞」において、知事賞を受賞した。理美容業だからこそ出来るサービスに「こだわり、さらなる挑戦を続ける代表取締役 村手克行氏と、スタッフでもある」とし子夫人に事業への想いなどを聞いた。

おばあちゃん子で育ったからこそ
魅力に感じた仕事

まずは、なぜこのような事業を始めようと思ったのか教えてください。

村手 自分はおばあちゃん子で育ったものですが、何かおばあちゃん達の役に立てることがないかと思っていた時に、広島県の移動理美容車が、外出困難なお年寄りに喜ばれているという記事を新聞で読んだんです。おばあちゃん達が理美容で綺麗になると笑顔になり、元気になるという事に、おばあちゃん子だった私は非常に魅力を感じて、次の日には広島へ夫婦で見学に行きました。

すごい行動力ですね。この事業を始めると言われた時、奥様はどう思われましたか？

夫人 当時私は妊娠していて、あまり深く考えずに行きました(笑)。主人はやると言ったらやる人なので、なんとかやるのかなと思っていました。

「喜びをつなぐ」ことがキーワード

会社の理念が生まれたエピソードがあれば聞かせてください。

村手 スタッフの個人面談で、この仕事に対するやりがいや、仕事についてどう思うか、ヒアリングした結果を見ていた時に、「喜びをつなぐ」ことがキーワードになっているね」とし子が言ったんですよ。

夫人 覚えてない(笑)。てっきり社長が考えた言葉だと思っていました。

夫婦の何気ない会話から生まれた素敵な言葉だったので。



心地いい空間が作れるような存在でありたい

社名の「そよ風」にはどんな思い込められていますか？

村手 この仕事を始めようと思った時期に、うちのおばあちゃんの特養 特別養護老人ホームへ行ったことがあって。施設の中庭にあった石のオブジェの題名が「そよ風」だったんです。その時に「そよ風」っていう名前だなと思ったんです。その特養は窓が締められていて、言い方は悪いけど、ちよっと空気がよんでる感じで。その時に僕らの仕事は、施設の窓からさわやかなそよ風が吹きこむような、利用者様やスタッフのみなさんにとって、そよ風のように心地いい空間が作れるような存在でありたいと思って。それで「そよ風」と付けたんです。

これまでスタッフとやってきた事が認められたと実感

今回、あいちサービス大賞の知事賞を受賞されたそうですねーおめでとうございます。

村手 ありがとうございます。知人から「あいちサービス大賞に応募してみたら？」と声をかけられ、軽い気持ちで引き受けたんですが、応募のための提出書類作りがとて大変で。途中で「もうやめようかな...」と思ったこともあったけど、あいちサービス大賞の事務局の方に添削してもらいながら資料を作っていくうちに、自分の会社を俯瞰して見るいい勉強になるなと思えたんです。最終的に資料が出来上がった時には「うちの会社はいいことをやっている。大事な事業だな」と思えました。もし賞を取れなくても自分の事業を客観的に見つめ直すことができた事に満足感がありました。

夫人 この賞に応募することで、多くの方に私たちの仕事を知らせてもらえたらと思うていただけなのに、「知事賞」を受賞でき、本当にうれしいです。私たちは、特別でもなく当たり前のことを日々やってきました。特別な「そんな当たり前」の事を認めていただけたことが社長は何より嬉しかったようで、その姿を見てスタッフ達は徐々に実感がわいたように思います。

自分が勤めている会社が認められたという事は、スタッフのみなさんも誇らしくうれいすよね。



こういう仕事があることを知ってもらいたいと動いた年



客観的に事業を見つめなおしてみても、どう思う思いになりましたか？

村手 提出書類を作っている最中、うちのスタッフ達はもついろいろな人達から注目され、スポットライトが当たらないといけない、と思いました。理美容師は華やかでスター的なスポットライトが当たっているイメージがありますよね。でも、うちのスタッフ達は真夏の暑い中や真冬の寒い中、きつい体勢で仕事をしています。お客様に「わねられたり、ひどい時は唾をかけられることもある。それでも笑顔でお客様に喜んでもらおう」と生懸命やっています。施設の中だから一般の目には届かないけれど、こんな素敵な仕事があることを、たくさんの人に知ってもらいたいと思ったんです。

この1年は、あいちサービス大賞に応募したり、中学校の職場体験を迎えたりと、いろいろな人にこのような仕事があることや、株式会社そよ風の事業について知ってもらおうと、認知促進を試みた年でもありました。

理美容だからこそできる事業を全国につなげる

これからの高齢化社会に向けた「株式会社そよ風」の展望を聞かせてください。

村手 「あなたの会社は何業ですか？」という問いに、今までは当たり前「理美容業」と答えていました。しかし、うちの会社は理美容業で始まったけれど、今は施設を元気にする会社として、お年寄りに元気で生き生きとしてもらいたいし、スタッフさんにやりがいを感じてもらいたい。また、お年寄りを預けている家族の喜びにもつながるお手伝いを常に探していきたいと思っています。理美容しかり、葬儀もしかりですが、まだ形にできていないことを形にしていかなければと思っています。

今後、そよ風さんが会社として挑戦していきたいことはありますか？

村手 今回の新型コロナウイルス感染症の件で確信したことです。理美容だけで活動している全国と同業者の皆さんは、この時期活動できずとも困っていると聞いています。そよ風のもうひとつの事業「あいの風葬」は理美容にかかわるからこそ出来る、お見送りの形だと思っているので、普段から理美容でかかわった方を、きれいにして最期を送るという仕事があることを伝えてきたいと思っています。そして、こういう形で送れるっていいよねって思いのある人と一緒に、全国に広げていきたいと考えています。



【連絡先】 移動理美容事業部 そよ風
TEL.0586-84-1175
葬祭事業部 あいの風
TEL.0586-85-7770

Interviewer 有限会社 ビースタイル
代表取締役 齋藤真理子